



支え合い・認め合う

～ わたしの「めあて」 ～

校長 高岡 和也

人権尊重・心の教育の推進は、本校学校経営の基盤となる大きな柱です。「育てる子供像」として、『素直で優しく、進んで思いやりの心を発揮する子ども』を掲げています。永原小では、6月の人権週間に「なかよし宣言発表会」を実施しています。友達となかよくするためのわたしの「めあて」を立て発表します。

今年、右にあるような「めあて」が出されました。

今回の「めあて」づくりは、2年生以上は、昨年12月の人権週間で行った「永原小のここがすき・ここをなおして」の発表会・意見交換会を受けての「めあて」の設定になっています。

友達となかよくするために自分が考えたことだけでなく、友達となかよくするために自分が心がけることを考え、お互いに発表し合うことで、自分の権利だけでなく友達の権利も尊重する雰囲気が生まれています。

話は変わりますが、先日『子どもと楽しむ草花のひみつ』（稲垣栄洋 著 ヒダカナオト 絵 (株)エクスレッジ 発行)という本を見つけ、購入しました。著者の稲垣さんは、農学博士で雑草生態学が専門の静岡大学院の教授です。オナモミの種子の中にあるひみつやスマレの種子の大冒険、カヤツリグサの名前の由来の話など、身近にあるのに思いを向けることのなかった、植物の不思議な世界のことを、子育ての話と関連させて書かれています。ヒダカさんのきれいで優しいイラストと共に、大変親しみやすく読みやすい内容となっています。

稲垣さんは、「雑草」とひとくくりにされた草も、きちんと名前がつけられ、それぞれが個性的な存在であること。同じ種類の草花でも、生え方や伸び方はさまざまで、何が正しいとか、何が優れているということとはわからない。だから、たくさんあることに価値を見いだしている。そして、子供だって同じで、ひとくくりに「子供たち」として扱うのではなく、一人一人違う個性があり、みんな違う存在だという、生物の「多様性」についてその価値をしっかりと認識しておくことが大切だと書かれています。

みんな全く同じじゃない、一人一人がそれぞれの個性をもつ、大切な存在であることをしっかりと認識した上で、思いを向けることが大切であると改めて感じました。

わたしの「めあて」

- ・ ほくは「ごめんね」ということばを言いたい。
- ・ けんかをしないように友達の気持ちを考える。
- ・ 「一緒にあそぼう」と声をかけてあげたい。
- ・ 気持ちのよい言葉をみんなに使いたい。
- ・ 自分がされていやなことを相手にはしない。
- ・ みんなのいいところをたくさん言う。
- ・ 相手の話をしっかり聞く。・・・等々



【なかよし宣言発表会】

永原の水神様

～ 薄陽さす 水神様の 初ナスビ ～

永原小体育館側の道路の脇に、大人の背丈ほどもある大きな水神碑があります。水神様というと、水が湧いている所とか、河川の取水口などといったイメージがあり、全く水と関係なさそうな道路の脇に、なぜ、こんなにも立派な水神碑があるのだろう。と不思議に思っていました。

すると、校長室の本棚に、1992年(平成4年)に永原小に勤務されていた有馬純一先生が、当時の子供たちと水神様について調べたことをまとめた冊子が見つかりました。それによると、「永原村は、昔から水が乏しく、明治4年(1871年)6月初めに各家から費用を集めて井戸を掘った。おかげで清き水を得ることができ村人は喜んだ。今までのように、谷底から水をくむ苦労が省かれ、実に幸いなことである。」ということが、水神碑に刻まれているそうです。今年開催された始良歴史民俗資料館の企画展「水神」拓本展示にも永原の水神の碑文が紹介されていました。

昭和34年ごろまで井戸は使われていたそうですが、水道ができて井戸は埋められ、今は水神碑だけが残っています。有馬先生たちは、当時の井戸を使っていた人たちに聞き取り調査をしたり、井戸ができる前に使っていた水汲み場まで実際に歩いて水を汲みに行ったりもしていました。(当時の子供の内2人が現在永原小の保護者です。)

また、昔から水神様に初ナスを供えるならわしがあったそうで、今年も水神様に初ナスが供えられていました。



薄陽さす
水神様の
初ナスビ
和也

水泳学習

6月に入り、子供たちが楽しみにしていた水泳学習が始まりました。6月初めは水も冷たく、子供たちも長くは水に入っていられない様子でしたが、日に日に気温も上がり、気持ちよく笑顔で学習に取り組む姿が見られるようになってきました。

7月7日の水泳学習発表会に向けて、それぞれが目標を立てて頑張っているようです。

最後まで、事故のないように、プールでの学習を楽しんでほしいと思います。



芋の苗植え

シルバー人材センターの方に来ていただき、芋の苗植えを行いました。

始めに、苗の植え方の説明をしていただき、実際に植えていくときには子供たちの側で、丁寧に指導をしていただきました。

たくさんの苗を植えることができました。秋の収穫がとても楽しみです。



タブレットを活用した授業

本年度から、子供たちは、一人一台のタブレット端末を使うことができるようになり、ドリル学習、インターネットによる調べ学習等、様々な学習場面で効果的にタブレットを生かすことができるようになりました。

最近では、授業の中で子供たちがそれぞれの考えをタブレットを通して発表することも行っています。

これからさらに活用の幅が広がります。子供たちも教師もわくわくしながら学習活動に取り組んでいます。



校内読書旬間

6月1日(火)～11日(金)は校内読書旬間でした。児童集会での委員会児童による読み聞かせや、本の貸出しスタンプラリー、毎日2冊貸出しなど、たくさんの催しが行われました。

先生たちによる本の読み聞かせでは、担任ではない先生が、おすすめの本の読み聞かせを行いました。子供たちは、新鮮な気持ちで、楽しく話を聞くことができていました。



校区美化活動

たくさんの地域の方々、保護者の方々に参加していただき、学校の敷地の草刈りを中心に作業をしていただきました。雨続きで、なかなか整備の行き届かない状況だったのですが、おかげさまであっという間にすみずみまできれいになりました。

子供たちも、刈った草を集め、運ぶ作業を一生懸命頑張りました。



グリーンカーテン

JAあいらの方々のご厚意で、ゴーヤのグリーンカーテンを職員室前に作っていただきました。

毎年、たくさんのゴーヤが実を結び、涼しさだけでなく、食べる楽しみもいただいています。

支柱やネットの取り付け、苗の植え付け等、暑い中での作業、高所での作業、本当にありがとうございました。

生長を楽しみに、子供たちと大事に育てていきます。



【7月の行事予定】

6日(火) 加治木養護学校との交流(5・6年)

7日(水) 水泳学習発表会

給食試食会

学級・全体PTA

8日(木) スターランドAIRA見学(3・4年)

11日(日) みどりの少年団体験活動

13日(火) 3のつく日のあいさつ運動

14日(水) 着衣水泳

17日(土) PTAプール掃除

20日(火) 終業式

21日(水)～30日(金) プール開放

29日(木) 市水泳記録会

31日(土) 永原夏祭り(予定)

